

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	(株)A.day放課後等デイサービスアモール北別府		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	知的、重心、生活介護と平屋建てで繋がっており、夏祭りやクリスマス会、ビンゴ大会など北別府全体でのイベントを開催している為、全ての部署の職員がそれぞれの利用者さんのことを把握、理解している。	1年を通じて季節感を感じてもらうため、季節ごとのイベントを開催するように心掛けている。お出かけや駐車場で行うスイカ割り、流しそうめんなども北別府全体で取り組んでいる。利用者さんだけでなく、職員間全体の交流があり、全体として仲良く出来ている。	人形劇を一度外部から来てもらったことがあるが、とても利用者さんが楽しそうだったので、交流の場として心躍るようなイベントを北別府全体で取り組んだり、隣のデイサービスとの交流を深め、敬老の日には歌のプレゼントと染めお花を作る準備をしている。
2	重心の事業所が隣にあるので、看護師が常時しているので知的の医療ケア児を受け入れ、支援ができる。	知的の医療ケア児も処置が終わったら、知的のお部屋でみんなと一緒に活動に取り組めるよう、時間配分などきっちり行い、看護師との連携を計り、スムーズに対応できるようにしている。	医療ケア児を優先的に受け入れができるように準備をしていく
3	様々な道具を使用し、季節の壁面制作に力を注いでいる。	出来るだけ大きいサイズの模造紙に全員で取り組める季節の壁面作りをすることで、制作することが難しい利用者さんでも少しでも参加するようにしている。	継続しながら、季節の壁面制作を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特別支援学校の利用者さんが多く、公立小学校に通っている利用者さんの宿題や勉強の時間が最後まで取れないことがある。	宿題がない利用者さんが多いのもあり、宿題に時間がかかってしまったり、わからない問題があったときに、周りが宿題がないことに羨ましく思い、やる気をそいでしまうこともある。	全員で取り組む毎日の活動は優先したいが、宿題も大事なことで、中々曜日によっては帰宅時間が遅い場合は特に難しいので、家庭とも連携を取りながら、宿題を優先する曜日や活動を優先した時の残りの宿題を共有し、本人が困らないように把握する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスアモール北別府

公表日 2025/3/13

利用児童数 15

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13			2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				1	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	1	1	9		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14			1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1			で	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1		1	きちんと面談してくれる。相談しやすい。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	1	7	イベントに家族で参加させて頂けるようになったのでデイでの様子が分かりやすくなったのでありがたいです。見られる機会があるのがとてもいい。	
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		1		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15					
	29	事業所の支援に満足していますか。	15					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスアモール北別府		公表日		2025年3月14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		適切である			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		適切である			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		適切である			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃、おもちゃの生理整頓、消毒を徹底して行っている。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	支援室ではない所での落ち着いて過ごせる場所がないが、職員の事務所を利用。清掃を徹底し、物を置かず、スペースを確保している。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4					
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日のミーティングで共有している。	長期休暇ではミーティングが難しかった。 日々の日報で確認になっている		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4					
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		時間や日時の調整などでなかなか参加する機会がなかったが、今後は積極的に参加していきたい。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		適切である			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		家庭、学校と共有できるよう、連絡をまめにとり、保護者とは面談を半年に一度行うようにしている。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		毎日にミーティングで、モニタリングや支援計画時期には必ず、職員全体で話すようにしている。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			職員間で、支援内容の捉え方が支援をしてみても、違う場合もでてくることがあった。 その都度話すようにしていく。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4					
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		行っている			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		道具を毎回かぶらないように使用することを心掛けている			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別課題を行い、毎日タイムスケジュールをホワイトボードに書き込み、全員で活動時間を行うことを徹底している。			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日のミーティングで共有している。 その日の活動も含め、話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			支援終了後は話し合える時間がないので、次の日に必ず話し合うようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日報に必ず記録し、確認するようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		保護者にも必ず確認してもらうように連絡し、トラブルが起きたときすぐに会社携帯から会社に連絡するように職員間で徹底している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		保護者からの聞き取りからのみで機関からの情報共有はしていなかった。必要である場合は連絡を心掛けていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	3		今年から近くのデイサービスと交流する予定にしている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		出来ている	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		研修は行っていないので、積極的に案内するようにしたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	夏祭りやクリスマス会、ビンゴ大会など家族参加にしている。	案内はしているものの、参加する家族は限られているので、ハードルを低くし、交流できるような機会を設けるようにしたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		対応している	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		インスタグラムで、日々の活動を掲載し、定期的に案内のプリントを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		出来ている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		地域の方が参加できるようなイベントを考え案内していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		出来ている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		職員間で共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスアモール北別府			
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		～	2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年2月10日		～	2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1			
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスアモール北別府					公表日	年月日		
						利用児童数	年月日	回収数	12
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1		1	重心の中では、広いスペースだと感じました。	整理整頓をして、広く活動場所を確保できるように努めていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			3	バリアフリーで過ごしやすいと思います。	・部屋のクローゼットにドアロックを装着して、安全に配慮しています。 ・マットを敷く位置に配慮して、移動しやすい動線にしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				子どもはくつろいでいると思います。	事業終了後の清掃、子どもが使用するおもちゃの定期的なアルコール消毒を徹底して行っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				・ある程度理解してくれて行っていると思います。 ・子どものことを理解しようと働きかけて下さりありがとうございます。	不明な点は、ご家族に確認しながら支援を行っていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1	思います。	今後も事業所の方針に沿って活動を提供していきます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				作成されていると感じました。	今後も、子どもさんやご家族のニーズに合わせて、計画を作成していきます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			2			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1		今後も、子どもさんやご家族のニーズに合わせて、支援を行っていきます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1			・色々なプログラムがあると感じました。 ・いろいろな活動が来ていると思います。 ・季節ごとにいろんな催しが企画されていて子どもが楽しみです。	安全に楽しく様々な活動に参加してもらえよう計画します。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3		3	6	他の地域との交流があるか不明です。	他事業所と情報交換やクリスマスのイベントを一緒に行いました。今後も他事業所の交流を行えるようにしたいです。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				事前に説明頂きました。	契約時に、分かりやすく説明できるように心掛けています。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1				送迎時や面談を通して、分かりやすく支援内容を伝えられるように心掛けています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	2	5	研修会は無いように感じましたし、必要性を感じません。	現在は、ご家族に対しての研修は行っていません。今後、必要性を踏まえて研修等を検討していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12				いつも迎えの際、状況を伝えてもらいます。	送迎時にその日の様子や不明な点を伺うようにしています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1				送迎時や面談を通して、話をする機会を設けています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					今後もご家族の意見に寄り添った支援を心掛けていきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	4	5	交流の場があるかは分かりません。	現在はご家族に対しての研修は行っていません。今後、必要性を踏まえて研修等を検討していきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	1	1		相談に対して、できる限り受け入れようとして心掛けています。内容によっては検討に時間を要するので時間をいただいています。いつまでに返答するなど期限をきちんと伝えていけるように努めていきます。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2				送迎時やLINEを通して連絡がとりやすい環境を作っています。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1			・いつもレター（通信）をしています。 ・池田レター楽しみにしています。	事業所発行の広報誌と、作業療法士の発行している広報誌を月1回発行しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1	思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		4	訓練はされていると思いますが、内容はまいち理解していません。	ご家族に説明する機会は持っていないので、今後広報誌等を通じて発信してできるようにします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			7		年2回の避難訓練を行っています。火事、地震、水害等、種類に分けた訓練は行えていないので、今後行っていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		1	事故が発生していないので、よく分かりません。	事故発生時は、電話やLINEを通して、速やかな連絡を心掛けています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				楽しみに通所しています。	今後も安心して通ってもらえるような居場所を作っていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12				・楽しみに通所しています。 ・家では体験できないことができていい刺激になっていると思います。	今後も楽しめる活動を計画していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・いつも子どもが楽しみに通っているので、満足しています。安心して暮れるようになったので) ・北別府でも重心の生活介護をしてほしいです。	生活介護の件に関しては、事業所内で今後の検討内容として報告させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスアモール北別府		公表日		年 月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		バギーを別部屋へ移動させたり、マットレスの位置を移動させるなどし、スペースの確保を行っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1	必要に応じて、他部署のスタッフに応援を依頼し、深く子どもと関わられるよう努めている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日の清掃業務、おもちゃの消毒を徹底して行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	2				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3			話し合いの機会は設けているが、振り返りの時間帯がなかなか持てていない。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		ご家族からの意見はスタッフ間で共有する時間を設けている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	スケジュールや支援内容について話し合う時間を子どもが来る前に設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。		3		施設内での研修になかなか参加する機会がない。今後は積極的に参加していきたい。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		面談をや送迎時に学校の様子や他事業所の様子を伺っている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1		その時々で、支援内容が統一できていないこともあるため、気づいた際には定期的に共有する時間を設けていく。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	その月のプログラム案をスタッフ全員で一緒に考えている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1	季節の遊び、体を動かす遊び等、バランスを考えて組み込んでいる。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3					

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		ミーティング時間を設けて、その日の活動、各個人の支援に関する話を話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		ミーティング時間を設けて、その日の活動、各個人の支援に関する話を話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	1	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		おやつや製作に使用する絵の具等、子どもに選んでもらっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		児童発達支援管理責任者が主に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		学校から広報誌を受け取っている。その他必要に応じて電話にて適宜連絡をとっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1		現在は行っていない。今後は情報収集に努めていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		現在は行っていない。今後は必要に応じて情報提供を行っていく必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2		現在は行っていない。今後は必要に応じて情報収集を行っていく必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3		公園に出かけたりする中で、他児童と話をしたり	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		月一回、部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	1		現在は行っていない。今後は必要に応じて情報収集を行っていく必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			相談に対して、できる限り受け入れようと心掛けています。内容によっては検討に時間を要するため、いつまでに返答するなど期限をきちんと伝えていけるように努めていく。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		事業所発行の広報誌と、作業療法士の発行している広報誌を月1回発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		広報誌、SNS以外で写真等を掲載する際は、ご家族に随時確認をおこなっている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		地域住民との交流は行っていない。今後必要に応じて検討を行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		ご家族に説明する機会は持っていない。今後広報誌等を通じて発信していけるように検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1		年2回の避難訓練を行っている。火事、地震、水害等、種類に分けた訓練は行えていないので、今後行えるように検討する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		年2回の避難訓練を行っている。火事、地震、水害等、種類に分けた訓練は行えていないので、今後行えるように検討する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			再発防止策はスタッフ全員で考え、共有する時間を設けている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	1		虐待防止マニュアルをスタッフ間で読み合わせ、意識を持って取り組んでいる。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			やむを得ない場合は、部署内だけでなく、管理者会議等で検討する機会を設けている。